

様式例第 3 号

「朝来市地域防災計画(案)」に関するパブリックコメントの結果		
意見等の募集期間	令和 3 年 1 月 7 日 (木) ~ 令和 3 年 2 月 5 日 (金)	
意見等の受付件数	1 人	3 件
提出方法の内訳	郵便 1 人 電子メール 1 人	ファクシミリ 1 人 持参 2 人
実施機関(担当課等)コメント		
ご意見をいただき、ありがとうございました。いただきましたご意見につきましては、下記のとおりとさせていただきますたく存じます。		
提出された意見等の概要 (類似する意見については、取りまとめて掲載しています。)		
番号	意見等	市の考え方 (修正がある場合は、その内容)
	<p>○本当の災害が起こった時の対応が評価になるはずですが。本計画は何人が理解するのでしょうか。もちろん組織図は見ましたが、その方々がマニュアル通り進めるとは思いません。 計画文章全体の簡素化を提案します。</p> <p>○今、災害用の備蓄備品を見てきました。 高瀬公民館→なし 大蔵自治協→なし 大蔵小学校→ブルーシート、段ボール、消毒剤など 2~3 万円程度 これで大丈夫でしょうか？</p>	<p>○簡素化のご提案ありがとうございます。 地域防災計画については、前回改訂時の計画では風水害編、地震災害編と別れており、文章量が膨大となっておりました。また、重複する部分が多かったこともあり、今回の見直しにおいては、総則、予防計画、復旧計画、復興計画について共通編としてまとめ、文書量の削減を行いました。 地域防災計画は、災害発生前に実施すべき事項、災害発生後に実施すべき事項についてとりまとめたものであり、その内容も多岐にわたること、また災害種別によりその内容も異なることから、文章量が多くなること、ご理解いただきますようお願いいたします。</p> <p>○災害用の備蓄備品については、市では、災害発生時に開設する二次避難所運営のための備蓄品(毛布・間仕切り・仮設トイレ等)、非常食(アルファ化米・飲料水等)、生活必需品等を備蓄しております。一次避難所になる各区の公民館等は、各区等で朝来市自主防災活動支援事業を活用される等して防災資機材を購入され、災害時に備えておられます。 市としましては、今後も市で備蓄す</p>

番号	意見等	市の考え方 (修正がある場合は、その内容)
	<p>○1年前に放映されたNHKの「パラレル東京」見ました。防災には関心があります。他県からの移住者である私は「安全な地方都市朝来」を売りにすればいいのではと、前々から考えています。</p> <p>文章だけでは防災になりません。より多くの市民が理解することが、計画上大切なのではないのでしょうか。</p>	<p>る備蓄物品の品種、数量の充実を図るとともに、朝来市自主防災活動支援事業をより多くの区等で活用していただくため、区長様等に周知啓発をして参ります。</p> <p>○防災に関して、より多くの市民の皆様理解していただくために、市としても地域防災計画以外にも、ハザードマップや防災ガイド、広報紙を通じて災害時の備えや対応について啓発しております。今後も様々な媒体、機会を通じて市民の方への啓発を行い、防災に関する理解を深めていただくよう努めて参ります。</p>

